

事務事業名	地域福祉づくり事業				担当	健康福祉部 福祉課 高齢者福祉係	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8195	
施策名	1	市民主体の地域福祉の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市地域づくり推進交付金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成8 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1. 総務管理費	1. 一般管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	地域のだれもが生きがいをもって安心して暮らせる真岡市を築くため、市民の創意工夫を基に、市民が主体となって地域づくり事業を推進し、思いやりを育み、誇りと愛着のもてる個性豊かな地域を創造することを目的とする。地域福祉づくり事業は、その中の一事業である。 地域福祉づくり事業メニュー ・ミニデイホーム事業...各地区で実施中の70歳以上の高齢者を対象としたミニデイホーム事業を支援する。運営事業交付金限度額72万円、新規開設のための施設改修事業交付金限度額100万円、施設改修事業交付金限度額20万円 ・井頭温泉招待事業...各地区で70歳以上の高齢者を対象に、井頭温泉施設を利用するため送迎し、高齢者の健康の増進を図る事業を支援する。 ・敬老会事業（全地区必須事業）...70歳以上の高齢者の労苦をねぎらい、福祉の増進を図るため、各地区で実施する敬老会を支援する。 ・介護予防体操事業...介護の予防を図るため、各地域が行うノックア体操、真岡市民体操など、介護予防体操事業を支援する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 事業計画立案（各地区） 計画書提出（総務課） 内容審査（福祉課） 交付金交付（総務課） 事業実施（各地区） 実績報告書提出（総務課） 内容審査（福祉課） 交付金精算（総務課）  23年度計画 平成22年度と同じ		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	70歳以上高齢者数	人	8,255	8,345	11,641	11,895	12,155
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 全自治会		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	全自治会	地区	69	70	133	133	134
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 思いやりを育み、誇りと愛情のもてる個性豊かな地域を創造する。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	ミニデイホーム事業実施自治会数	地区	30	35	35	36	37
		イ	井頭温泉招待事業実施自治会数	地区	52	55	54	55	55
		ウ	敬老会開催事業実施自治会数	地区	69	70	133	133	134
		エ	介護予防体操事業実施自治会数	地区			14	18	25
		オ							
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 社会参加をすることで、健康で自立した生活を送ってもらおう。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
		ア	ミニデイホーム事業実施自治会数 / 全区数	%	43.5	50.0	27.1	27.9	28.4
		イ	井頭温泉招待事業実施自治会数 / 全区数	%	75.4	78.6	41.9	42.6	42.3
		ウ	敬老会開催事業実施自治会数 / 全区数	%	100	100	100	100	100
		エ	介護予防体操事業実施自治会数 / 全区数	%			10.9	13.9	19.2
		オ							
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	38,495	39,546	48,305	48,085	0
			事業費計(A)	千円	38,495	39,546	48,305	48,085	0
	人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	0
			延べ業務時間	時間	120	120	180	180	0
			人件費計(B)	千円	503	501	730	768	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	38,998	40,047	49,035	48,853	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域福祉の推進を目的として始められた。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニデイホーム事業と井頭温泉招待事業で開始した。</li> <li>・平成15年度から、敬老会事業を全地区必須事業として加えた。</li> <li>・平成21年度から、介護予防体操事業を加えた。</li> </ul>
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	大変好評で、継続してほしいという声が寄せられている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会参加は、健康で自立した生活と結びつき、地域福祉の推進が図れるので市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 社会参加は、健康で自立した生活と結びつき、地域福祉の推進が図れるので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 真岡市地域づくり推進交付金交付要綱に基づき、全自治会を対象としているので適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 全自治会が参加し、メニューを選択して実施しているので、これ以上の向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地域福祉の推進は、市政の重要な柱の一つなので、廃止・休止は難しい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 全自治会が対象のため、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で事務処理をしているため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 全自治会が対象のため、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							